2026天神祭ごみゼロ大作戦
給水スポットの実践

ブルーオーシャンビジョン2050年
海洋流出プラスチックごみゼロめざして

主催　天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

1

八軒屋浜で初実践　大阪府西治水事務所管轄エリア



給水スポット設置完了　設営メンバーと
　給水担当は3人で2日間　14時～22時

日時　7月24日15時～22時
　　7月25日14時～22時
実施場所　川の駅はちけんや
協力　　大阪府環境農林水産部　脱炭素・
エネルギー政策課・大阪府西治水事務所



2

プラスチックごみ削減のため
リユース容器普及のクラウドファンディングで
リユースカップ1,149個使用



3

海外からの観光客にも大人気
”water free” マイボトルに給水







4

7月25日、八軒屋浜遊歩道は人の往来が多かった





5

祭にマイボトル持参で　　若い人たちは、リユースカップに興味津々
25年大阪関西万博会場での無料冷水給水機が大人気で多くの人が利用、経験が行動変容に繋がった？





6

給水実績　　2日間　利用者1,149人
リユースカップ利用者1,074人＋マイボトル利用者　72人
給水量　401ℓ　　～日中は内外ともに赤ちゃん連れも多く～





7

全体の運営　今年の特徴
ボランティアが重層的に

天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

＋

大阪ボランティア協会

＋

2025年大阪・関西万博のボランティア

給水スポットスタッフはリーダーが担った。

3人中2人は　万博ボランティア経験者

ボランティアリーダー　82人

7日間の研修

ボランティア

のべ1,637人

8

リユース食器導入のためのクラウドファンディング　目標30万円　⇒332,800円

- 実行委員会の運営費は協賛金とクラウドファンディング（初）
- 学生リーダーのアイデアから
- 使い捨てプラスチック削減のためにリユース食器利用拡大のファンディングにとりくんだ

- エコステーションでも募金呼びかけに138,808円

- リユース食器導入実績は2万枚
- （回収率９３％）

9

2日間のエコステーション回収資源物から見えてきたこと

- 回収ペットボトルが缶回収量を初めて上回った

- 2025年　2026年
- 缶　580Kg　570kg
- PB　470kg　650kg　*35％増*
-

- 昨年より厳しい暑さで、水分補給は切実、ペットボトル飲料の需要大
- エコステーションの認知度が上がった。万博会場での3Rステーション、公共の場でも分けることが当たり前に
- 今年の祭り会場は、ごみの散乱は少なかった

10

「命を守る」公共の装置として

無料給水スポットは

街のインフラ設備として重要

市民、自治体、企業、専門機関等で
協働のテーブルを

11ご清聴ありがとうございました

11